



## 2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月12日

上場会社名 武蔵野興業株式会社 上場取引所 東  
コード番号 9635 URL <https://www.musashino-k.co.jp>  
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 河野 義勝  
問合せ先責任者（役職名） 執行役員経理部長（氏名） 中野 公一 (TEL) 03-3352-1439  
半期報告書提出予定日 2024年11月14日 配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 無  
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	657	5.8	21	—	22	—	19	—
2024年3月期中間期	621	△3.0	△2	—	△8	—	△13	—

(注) 包括利益 2025年3月期中間期 19百万円(—%) 2024年3月期中間期 △12百万円(—%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	18.72	—
2024年3月期中間期	△12.64	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	5,948	3,601	60.5
2024年3月期	5,978	3,582	59.9

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 3,601百万円 2024年3月期 3,582百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年3月期	—	0.00			
2025年3月期(予想)			—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,310	2.1	31	49.1	35	87.2	20	328.7	19.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期中間期	1,050,000株	2024年3月期	1,050,000株
② 期末自己株式数	2025年3月期中間期	3,750株	2024年3月期	3,624株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2025年3月期中間期	1,046,350株	2024年3月期中間期	1,046,377株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の基準に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあつたての注意事項については、添付資料のP3「1. 当中間決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	10
(収益認識関係)	11

## 1. 当中間決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における我が国の経済は、賃金上昇やインバウンド消費増加、企業業績の改善など、景気を後押しする明るい材料が見られる一方、物価上昇をもたらす個人消費への影響や不安定な金融市場の動向など、引き続き注視が必要な状況にあります。

このような状況のもと、当社グループは基幹事業である映画事業に重点を置きつつ、各事業部門において業績の向上に努めてまいりました。その結果、全体として売上高は6億5千7百万円(前年同期比5.8%増)、営業利益は2千1百万円(前年同期は2百万円の営業損失)、経常利益は2千2百万円(前年同期は8百万円の経常損失)、親会社株主に帰属する中間純利益は1千9百万円(前年同期は1千3百万円の親会社株主に帰属する中間純損失)となりました。

当中間連結会計期間のセグメントごとの業績の状況は以下の通りであります。

#### (映画事業部門)

映画興行事業におきましては、「武蔵野館」では、6月公開の『あんのこと』が好調に推移するとともに、7月に『郷愁鉄路～台湾、こころの旅～』、9月に『本日公休』などを上映しました。「シネマカリテ」では、8月公開の『Chime』、9月公開の『ナミビアの砂漠』が好調に推移し、昨年を上回る成績となりました。また、当社が主催する『カリテ・ファンタスティック!シネマコレクション\*2024』は今年で節目の10年目を迎えました。

映画配給関連事業におきましては、当社連結子会社の配給作品『郷愁鉄路～台湾、こころの旅～』(台湾映画)が7月に公開され、地方でも順次公開となりました。また、『認知症と生きる希望の処方箋』(邦画)は、「世界アルツハイマー月間」に合わせ、多くの劇場で上映されました。

その結果、部門全体の売上高は2億2千6百万円(前年同期比11.6%増)、セグメント損失は1千9百万円(前年同期は2千5百万円のセグメント損失)となりました。

#### (不動産事業部門)

不動産賃貸部門におきましては、テナント収入は引き続き安定的に推移し、主要テナントビルの設備更新等、維持管理費用の継続的な発生はあるものの、不動産賃貸部門全体としては堅調に推移しました。不動産販売部門におきましては、引き続き仲介取引の拡大に努めました。その結果、部門全体の売上高は2億9千2百万円(前年同期比2.0%増)、セグメント利益は1億6千9百万円(前年同期比3.7%増)となりました。

#### (自動車教習事業部門)

自動車教習事業部門におきましては、積極的な営業活動により、売上の中核をなす普通自動車、大型自動車の新規入所者数が前年を上回りました。また、注力している高齢者講習の受講者数も、昨年を上回る受け入れ数となりました。その結果、部門全体の売上高は1億3千万円(前年同期比5.3%増)、セグメント利益は5百万円(前年同期は0百万円のセグメント損失)となりました。

(商事事業部門)

当該事業部門の主軸である東京都目黒区において経営委託している飲食店につきましては、営業成績はコロナ以前の水準を回復し、引き続き安定的に推移しました。その結果、部門全体の売上高は3百万円(前年同期比2.6%減)、セグメント利益は3百万円(前年同期比2.6%減)となりました。

(その他)

主として自販機手数料であります。部門全体の売上高は3百万円(前年同期比13.9%増)、セグメント利益は3百万円(前年同期比14.4%増)となりました。

※ スポーツ・レジャー事業部門は営業中止中であります。

(2) 財政状態に関する説明

①財政状況の分析

(資産)

当中間連結会計期間末における総資産は、未払債務の減少や有利子負債の返済による現金及び預金の減少があったことなどから、前連結会計年度末に比べ2千9百万円減の59億4千8百万円となりました。

(負債)

負債合計は、未払債務の減少や有利子負債の返済による減少があったことなどから、前連結会計年度末に比べ4千8百万円減の23億4千6百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、親会社株主に帰属する中間純利益の計上等により利益剰余金が増加し、前連結会計年度末に比べ1千9百万円増の36億1百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、当中間連結会計期間に、営業活動において4千8百万円の資金を得て、投資活動において5千1百万円の資金を、財務活動において2百万円の資金をそれぞれ使用した結果、前中間連結会計期間末に比べ、6千9百万円増の7億5千1百万円(前年同期比10.2%増)となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

〈営業活動によるキャッシュ・フロー〉

営業活動で得られた資金は4千8百万円(前年同期に使用した資金は9百万円)となりました。主な内訳は、税金等調整前中間純利益2千2百万円や、仕入債務の増加6百万円等があったことによるものであります。

〈投資活動によるキャッシュ・フロー〉

投資活動により使用した資金は、テナントビル設備更新工事等の有形固定資産の取得による支出4千5百万円等により、5千1百万円(前年同期は2千5百万円の支出)となりました。

〈財務活動によるキャッシュ・フロー〉

財務活動により使用した資金は、長期借入金の返済による支出3千1百万円等により、2百万円(前年同期は2千6百万円の支出)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の通期連結業績予想につきましては、現時点においては、2024年5月14日発表の業績予想に変更はありません。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	758,322	751,934
売掛金	36,108	54,422
棚卸資産	1,865	1,768
その他	77,855	55,631
流動資産合計	874,153	863,756
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	473,203	449,387
機械装置及び運搬具(純額)	9,471	7,120
工具、器具及び備品(純額)	20,910	20,148
土地	3,904,167	3,904,167
リース資産(純額)	7,659	6,743
有形固定資産合計	4,415,412	4,387,567
無形固定資産		
借地権	73,315	73,315
その他	9,644	13,661
無形固定資産合計	82,959	86,976
投資その他の資産		
投資有価証券	434,691	434,799
繰延税金資産	49,011	52,083
敷金及び保証金	88,646	88,646
その他	37,337	38,703
貸倒引当金	△4,113	△4,214
投資その他の資産合計	605,572	610,017
固定資産合計	5,103,945	5,084,561
資産合計	5,978,098	5,948,318

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	63,552	70,267
短期借入金	52,308	48,717
リース債務	1,832	1,832
未払法人税等	6,104	10,080
賞与引当金	14,547	15,089
その他	193,328	131,932
流動負債合計	331,673	277,919
固定負債		
長期借入金	285,056	287,189
リース債務	5,826	4,910
退職給付に係る負債	54,850	58,393
役員退職慰労引当金	8,906	8,906
長期預り敷金	618,369	618,369
再評価に係る繰延税金負債	1,082,196	1,082,196
その他	8,860	8,871
固定負債合計	2,064,066	2,068,837
負債合計	2,395,739	2,346,756
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,004,500	1,004,500
利益剰余金	131,012	150,602
自己株式	△8,721	△8,992
株主資本合計	1,126,791	1,146,110
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,483	3,367
土地再評価差額金	2,452,083	2,452,083
その他の包括利益累計額合計	2,455,567	2,455,451
純資産合計	3,582,358	3,601,561
負債純資産合計	5,978,098	5,948,318

## (2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

## 中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	621,108	657,288
売上原価	318,113	336,422
売上総利益	302,994	320,866
販売費及び一般管理費	305,770	299,706
営業利益又は営業損失(△)	△2,775	21,159
営業外収益		
受取利息及び配当金	1,128	2,278
持分法による投資利益	-	275
その他	861	532
営業外収益合計	1,989	3,086
営業外費用		
支払利息	897	1,369
持分法による投資損失	7,122	-
その他	116	140
営業外費用合計	8,136	1,510
経常利益又は経常損失(△)	△8,922	22,735
特別損失		
環境対策費	1,799	-
特別損失合計	1,799	-
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失(△)	△10,721	22,735
法人税、住民税及び事業税	1,540	6,176
法人税等調整額	966	△3,030
法人税等合計	2,507	3,146
中間純利益又は中間純損失(△)	△13,228	19,589
親会社株主に帰属する中間純利益又は親会社株主に帰属する中間純損失(△)	△13,228	19,589

## 中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益又は中間純損失(△)	△13,228	19,589
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	364	△116
その他の包括利益合計	364	△116
中間包括利益	△12,864	19,473
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	△12,864	19,473

## (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失(△)	△10,721	22,735
減価償却費	32,847	32,880
貸倒引当金の増減額(△は減少)	180	101
受取利息及び受取配当金	△1,128	△2,278
支払利息	897	1,369
持分法による投資損益(△は益)	7,122	△275
売上債権の増減額(△は増加)	7,747	△18,313
棚卸資産の増減額(△は増加)	△1,077	96
仕入債務の増減額(△は減少)	△15,875	6,714
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	1,295	3,543
未払消費税等の増減額(△は減少)	△8,672	11,347
その他	△9,602	△8,223
小計	3,011	49,698
利息及び配当金の受取額	1,128	2,278
利息の支払額	△985	△1,585
法人税等の支払額	△12,603	△2,222
営業活動によるキャッシュ・フロー	△9,449	48,169
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△21,320	△45,618
無形固定資産の取得による支出	△2,264	△4,897
その他	△1,505	△1,365
投資活動によるキャッシュ・フロー	△25,090	△51,881
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	-	30,000
長期借入金の返済による支出	△24,442	△31,458
リース債務の返済による支出	△1,957	△916
自己株式の取得による支出	△8	△270
財務活動によるキャッシュ・フロー	△26,407	△2,644
現金及び現金同等物に係る換算差額	△20	△30
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△60,968	△6,388
現金及び現金同等物の期首残高	743,268	758,322
現金及び現金同等物の中間期末残高	682,300	751,934

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当中間連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による中間連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関する改正については、2022年改正適用指針を当中間連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前中間連結会計期間及び前連結会計年度については遡及適用後の中間連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前中間連結会計期間の中間連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他	合計
	映画事業	不動産事業	自動車教習事業	商事事業	計		
売上高							
顧客との契約から生じる収益	203,041	22,127	124,247	3,803	353,219	3,175	356,394
その他の収益	—	264,713	—	—	264,713	—	264,713
外部顧客への売上高	203,041	286,840	124,247	3,803	617,933	3,175	621,108
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	1,800	—	—	1,800	—	1,800
計	203,041	288,640	124,247	3,803	619,733	3,175	622,908
セグメント利益又は損失(△)	△25,502	163,573	△668	3,803	141,206	3,060	144,266

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、版權事業その他であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	141,206
「その他」の区分の利益	3,060
セグメント間取引消去	6,379
全社費用(注)	△153,421
中間連結損益計算書の営業損失(△)	△2,775

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4. 報告セグメントごとの資産に関する情報

該当事項はありません。

II 当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他	合計
	映画事業	不動産事業	自動車教習事業	商事事業	計		
売上高							
顧客との契約から生じる収益	226,651	24,876	130,801	3,706	386,035	3,615	389,651
その他の収益	—	267,636	—	—	267,636	—	267,636
外部顧客への売上高	226,651	292,513	130,801	3,706	653,672	3,615	657,288
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	1,800	—	—	1,800	—	1,800
計	226,651	294,313	130,801	3,706	655,472	3,615	659,088
セグメント利益又は損失(△)	△19,425	169,597	5,515	3,706	159,394	3,499	162,894

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、著作権事業その他であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	159,394
「その他」の区分の利益	3,499
セグメント間取引消去	9,204
全社費用(注)	△150,939
中間連結損益計算書の営業利益	21,159

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4. 報告セグメントごとの資産に関する情報

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。